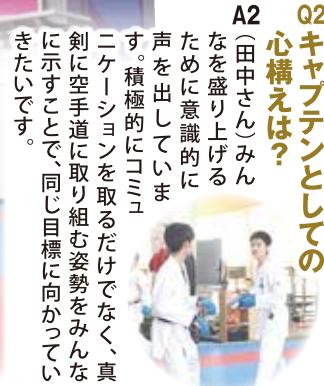


部活応援隊が行く!!



顧問 酒井 佑紀先生



Q2 キャブテンとしての心構えは?
A2 (田中さん) みんなを盛り上げるために意識的に声を出していま
す。積極的にコミュニケーションを取るだけでなく、真剣に空手道に取り組む姿勢をみんなに示すことで、同じ目標に向かっていきたいです。



(酒井先生) 今後控えている大会に向けて練習に取り組んでいます。部として毎年目標に掲げているのが、インターハイと選抜大会です。

A6 部活動を通して伝えたいことは?

(酒井先生) 「主体性」「人間力」「思いやり」を大切に将来的に社会で活躍できる人になれよう、目指しています。「主体性」というところでは、男女のキャブテン・副キャブテン、メンタルリーダーが月1回ミーティングを開き、課題や解決策などを話し合っています。メンタルトレーニングの一環として、1分間のスピーチを発表する時間を導入したり、スパート選手や会社経営者を特集した記事を読んで発表したりするなど、人間性を高めるべく、競技以外のことにも取り組んでいます。今後は社会貢献活動にも力を入れていきたいと考えています。

A4 現在の目標は?
A5 チームの課題は?



A1 Q1 部活の魅力は?
A2 (田中さん) 「厳しそう」「痛そう」などのイメージを持たれがちの空手道ですが、この部活でみんな楽しんで活動しています。

（田中さん）「厳しそう」な笑顔で活動して

A3 Q3 チームの強みは?
A4 (田中さん) 今年のインターハイでは思うような技が出せず初戦敗退してしまったので、次のインターハイにも出場し、後悔のない試合をしたいです。

（酒井先生）「いい顔で練習しよう!」と声をかけており、ポジティブな姿勢で練習に取り組んでくれているところです。また積極的にコミュニケーションを取り、みんなで高め合おうとする気持ちが強いチームです。

（酒井先生）苦しさを楽しさに変えられる力を持つていることです。体力的に苦しいときが多いですが、生き生きとした表情で声をかけあつたら、みんな笑顔で、「もう少し頑張ろう!」と楽しく乗り越えられます。

（酒井先生）苦しさを楽しさに変えら

れれる力を持つていることです。体力的に苦しいときが多いですが、生き生きとした表情で声をかけあつたら、みんな笑顔で、「もう少し頑張ろう!」と楽しく乗り越えられます。

（酒井先生）苦しさを楽しさに変えら

れる力を持つていることです。体力的に苦しいときが多いですが、生き生き

とした表情で声をかけあつたら、みんな笑顔で、「もう少し頑張ろう!」と楽しく乗り越えられます。

（酒井先生）苦しさを楽し

めます。

「苦しいことを楽しむ努力」で全国の舞台へ